

留学だより No. 5

こんにちは。だいぶ時間が経ってしまいましたが、12月分の留学だよりを送ります。

目次；CHRISTMAS

12月に何したの？

の2本立てでお送りします。

★CHRISTMAS

クリスマスは約2か月前なのですが、本場のクリスマスを体験してきたので皆さんに共有したいと思います。まず、クリスマスの本場はヨーロッパなので、ヨーロッパ並みに10月から「もうクリスマス！」ってことは全然なくて、むしろ11月の最後に Thanksgiving があるのでそれまでクリスマスは控えめです。今年のクリスマスは、ホストマザーが家族で旅行、一緒に住んでいるモンゴルの留学生もその子の家族と旅行、もう一人一緒に住んでいたポーランドの留学生は強制帰国、ホストファーザーは相変わらず仕事があったので、友達と映画を見に行ったり、ショッピングに行ったりしました。

WICKED という、アメリカでは11月からやっている映画を見に行ったのですが、本当に好きな映画ランキングで上位に入るくらい最高でした。ブロードウェイで公演された、WICKED というオズの魔法使いの前の物語で、ミュージカルのように華やかな映画でした。この映画を最初から説明して、好きなシーンを紹介していったら留学だよりの上限の4ページなどかるーく超えそうなので、興味のある人はぜひ日本で観てみてください。

ショッピングでは Secret Santa という、日本でいうプレゼント交換のようなものをしました。お互い上限金額を決めて、相手に内緒でプレゼントを買いました。友達がピアスをしている子だったのでアクセサリを置けるようなプレートと、お部屋をいい匂いにできるルームミストをプレゼントしました。友達からは写真をぶらさげられるようなかわいい電飾ガーランドをもらいました。雪の結晶のオーナメントがついていて、今、自分の部屋に飾ってあります！アメリカでは物価が高いので、10ドルから15ドルという、1500円から2250円とちょっとお高めですが、このくらいが平均的だそうです。円安がつらいですね。

あとは、友達と一緒にケーキを作ったり、雪だるまを作ったりしました。アメリカでは、家で作るケーキは、イチゴショートケーキのような、卵を泡立てて作るスポンジケーキにふわふわに立てたホイップクリームを合わせたケーキではなく、粉と油と水で作るスポンジケーキと、牛乳と粉砂糖で作るフロスティングを合わせたケーキが主流です。「日本のケ

ーキの方が美味しそうじゃない？」と思うかもしれませんが、正直に言うと、本当にそうだと思います。アメリカのケーキはデコレーションの時でもホイップクリームよりバタークリームを使う方が主流なので、正直なところ、ケーキは日本の方が圧倒的に種類もあるしおいしいと思います。（個人の感想です。）雪だるまはクリスマスシーズンに友達ともう一回作りました。実をいうと今までの人生の中で雪だるまを作ったことがあるかと言われると一度もなかったような気がするので、アメリカに来て雪だるまを初めて作りました。意外と労働作業なので作った後は雪に寝っ転がってしばらく休憩したのを覚えています。



ここまで友達と遊んだ話しかしていないのですが、クリスマスはもともとイエスキリストが生まれた日であって、神様の誕生日なのです。なので、アメリカでは友達や彼氏・彼女と過ごすのではなく、基本的に家族と過ごします。

クリスマスはサンタクロースが来る日で有名ですが、なぜキリスト教の神様の誕生日だというのに、全然関係ない人が世界中の子どもたちにプレゼントを配りに来るの？と疑問に思ったことはありませんか？むしろ疑問に思わなかった方もいると思います。私も今の今までそういうものだと思っていました。ですが、サンタクロースは、ローマ帝国に存在していた聖ニコラウスがもとになっており、英語の「セント・ニコラウス」がオランダ語読みで「サンタ・クロース」になったのです。聖ニコラウスが、4世紀、貧しい人々に贈り物を配り始めたところから、習慣化して現在のサンタクロースになったそうです。ちなみに、サンタクロースは一人だけではなく各国にいて、日本の公認サンタクロースはパラダイス山本さんという人らしいです。もし会ったら、サインを書いてもらったら、サンタクロースからのサインとしてみんなに自慢することができるので皆さんぜひ貰っておきましょう。日本ではカップルと一緒に過ごす、友達と一緒に過ごす日として、「くりぼっち」なんて言葉がありますが、アメリカではそういうものはなく、比較的みんなが過ごしやすい日となっています。ありがたいですね。

話が大幅にずれましたが、私はホストマザーも一緒に住んでいる他の留学生も旅行だったので、ホストマザーのお子さんと（30歳くらい）ホストファーザーと一緒にクリスマスをお過ごしました。夜はハムやマッシュポテトなどを食べて、イブを過ごし、クリスマスの朝になると、家のクリスマスツリーの下にプレゼントが置いてあるので、みんなで開けました。アメリカのクリスマスプレゼントは大きいものや値段の高いものが一個というわけではなく、いろんな種類のもものが何個もある形でした。去年は本物の木をデコレーションしたそうですが、今年は人工のクリスマスツリーで、ちょっぴり悲しかったです。



★12月に何したの？

12月はいろんなことがあった月なのでひとまとめにするのが難しく、こんな題名ですが、ひとつずつ共有していこうかなと思います。

まず、12月16日は私の誕生日がありました。誕生日は月曜日で平日だったので、一日前の日曜日にみんながサプライズパーティーをしてくれました。でもあまりにもサプライズすぎるサプライズだったので、自分はお風呂上りというあまりにも盛れていない状況でした。悔しいです。友達に来てくれて、ケーキとプレゼントを持ってきてくれました。盛れてなかったですが、とっても嬉しかったです。当日は、いろんな人が誕生日を祝ってくれました。アメリカの人にとっては、16歳の誕生日はSWEET 16といって人生の中で大切な誕生日の一つとなっていて、みんなSweet 16!と言ってお祝いしてくれました。放課後は家族と一緒にクリスマスリサイタルに行きました。ホストマザーのお孫さんが出ていてとってもかわいかったです。

12月は、私が入っているダンスチームが本格始動した月でもありました。私の学校のダンスチームは週1回の頻度で学校のバスケの試合のハーフタイムでパフォーマンスします。12月ではチアのポンポンを使ったダンスと、スローテンポのヒップホップのダンスをしま

した。クオリティ的には小石川の体操部の方が圧倒的に上ですが、パフォーマンスをしているときはオーディエンスの人たちが歓声を上げて盛り上げてくれるので、ダンスをしていて楽しいし、笑顔になります。週1回なので、パフォーマンスの機会も多く、やりがいがある部活です。

冬休みは、一緒に住んでいるフォスターケアの子と一緒にプレートにお絵かきができる工房に行ってきました。私はフクロウのプレートと、四角いプレーンのものに色を付けました。プレーンの方にはヤシの木と海を描きました。プレートから雪から逃げ出したい私の気持ちが伝わってきます。フクロウのプレートは自分用のアクセサリ置きとして使っています。

そして大晦日の12/31は、友達と一緒にBALL DROPという大晦日イベントに行きました。そのことは1月号に書こうかなと思います。留学だよりを提出するのがすごく遅れてしまいましたが、今まで通り、のほほんと元気に過ごしているので皆さんも風邪をひかないように元気に過ごしてくださいね～！

